

これは何かな？



住まい方を工夫することで、エアコンなどのエネルギーの消費を少なくすることができることを理解させるとともに、自分達の家庭で取り入れられる夏の暮らし方の工夫について考えさせ、実践に繋げていきます。

A large, rectangular, woven bamboo or straw mat is leaning against a building. The mat is made of a dense, grid-like pattern of woven reeds or bamboo strips, creating a textured, brown surface. It is positioned vertically, with its top edge near the roofline of the building. The building has a dark, possibly tiled roof and a light-colored wall. The ground in front of the building is a dark, paved surface. The overall scene suggests a traditional or rural setting, possibly related to the 'bamboo' mentioned in the text.

	中3	中4	中5	中6	中1	中2	中3
社会	○地域の人口 の増減	○国境と国境の 健康・生活環境	○世界の中心の 日本	【国境】 ○世界と比べた日本の地域の特 色(資源、エネルギーと産業)	【食料】 ○農林の生活と食料の役割 (稲作の歴史) ○世界平和と人類の福祉の観点 (地球環境、資源、エネルギー) ○よりよい社会を目指して		
理科			○生物と環境				
技術・家庭科(環境)							○自然環境の保全と科学技術の活用
保健・体育(環境)			○健康な生活と 環境に配慮した生活の工夫				○健康な生活 と環境生活と健康

この写真は、日本の伝統的な夏の暑さを防ぐための工夫として代表的な「よしず」です。「立て簾（たてす）」の中で、ヨシを用いたものを特に「葎簾（よしず）」と呼びます。

玄関先や軒先に立て掛けることで日光を遮りながら風を通し、屋内を涼しく保つことができるだけでなく、目隠しの効果もあり、非常に便利な道具です。

「すだれ」や「よしず」を目にすることが少なくなった生徒に、資料35の「すだれ」の写真と比較させながら、それぞれの違いや使用例などを考えさせたり、カーテンやブラインドとの違いを考察させたりすることも考えられます。

窓の外側に立てた「よしず」は、窓辺全体の日除けになり、窓を開けておけば風を通すこともできます。

カーテンやブラインドの場合、室内への直射日光を遮ることはできても、窓辺自体が温まり、結局、そこから室内に熱が移ります。その点、窓の外側に掛けたよしずは窓辺全体の日陰けになり、室内を暑くすることはありません。

高温多湿の日本の夏を快適に過ごすためには、住まい方を夏向きに工夫することで、エアコンなどの使用量を減らし、エネルギーの消費を少なくすることができます。

参考：日本文化いろは事典、全国地球温暖化防止活動推進センターホームページ
写真撮影：県環境政策課